

今後の障害者施設整備について

1. 障害者施設の整備状況

(1) 整備状況

- ①知的障害者グループホーム 17施設 定員95名 ※今後の整備見込含む
- ②身体障害者グループホーム 3施設 定員19名

(2) 課題

- ①重度身体障害者グループホームの不足
- ②障害者の高齢化に伴いニーズが見込まれる日中・夜間支援への対応

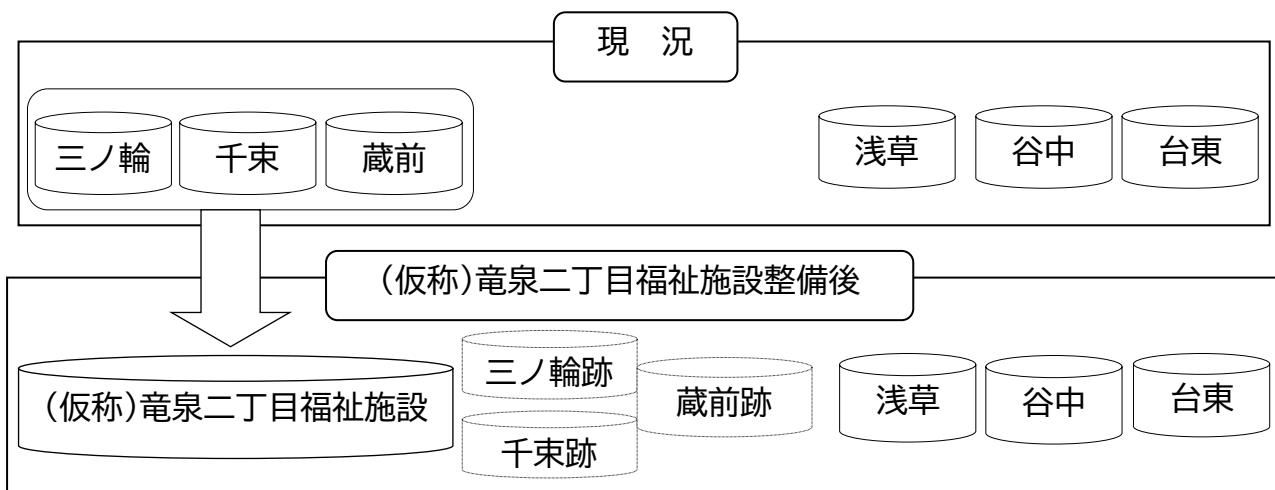
(3) 課題対応の方向性

- ①重度身体障害者グループホームを整備し、入居ニーズに対応する。
- ②整備する重度身体障害者グループホームは、障害者総合支援法に基づく「日中サービス支援型」とし、入居者が日中もグループホームで過ごすことができる環境を整える。

2. 施設整備について

(仮称)竜泉二丁目福祉施設の整備に伴って空く、特別養護老人ホーム千束跡を活用して、重度身体障害者グループホームを整備するとともに、障害者施設の再編成を行う。

(参考)区立特別養護老人ホーム再編成イメージ図



(1) 施設整備概要及び施設再編成イメージ [別紙参照]

①千束保健福祉センター

- ・重度身体障害者グループホーム「フロム千束」を増床
入居9床+体験2床 → 入居18床+短期入所2床
※運営法人は、引き続き社会福祉法人台東つばさ福祉会とする。
- ・就労継続支援B型事業所「たいとう福祉作業所」を移転
- ・生活介護事業所「つばさ福祉工房」及び台東つばさ福祉会事務局を移転
→必要な整備工事に加え、千束保健福祉センター全体の受変電設備、給排水設備、エレベーターの更新工事などを実施
※整備工事期間中は、センターは全館休館

②三ノ輪福祉センター

千束保健福祉センターで運営をしている「フロム千束」及び放課後等デイサービス事業所「つばさ放課後クラブ」の運営を継続するため、特別養護老人ホーム三ノ輪跡等を改修し、千束保健福祉センター整備工事期間中の仮移転先とする。

③つばさ福祉工房

- ・「つばさ放課後クラブ」を移転
- ・脳卒中等中途障害者作業所「あひるの家」を移転
- ・就労継続支援B型事業所「すてっぷつばさ」を移転
→必要な整備工事に加え、つばさ福祉工房全体の受変電設備や空調設備の更新工事などを実施

※整備工事期間中は、つばさ福祉工房は全館休館

④ほおづきの家

第3期施設保全計画に基づき大規模改修を行う。宿泊訓練事業や緊急一時保護事業を継続するため、特別養護老人ホーム三ノ輪跡等を大規模改修中の仮移転先とする。

(2) 整備スケジュール(予定)

- 令和4年度 整備内容検討（整備計画）
- 令和5～6年度 基本設計・実施設計
- 令和6～7年度 三ノ輪福祉センター（仮移転先）改修工事
- 令和7～8年度 千束保健福祉センター整備工事
　　ほおづきの家大規模改修工事
- 令和8～9年度 つばさ福祉工房整備工事

3. 今後の予定

令和5年第2回定例会 保健福祉委員会 整備計画報告